



公共交通ネットワークの充実

● 現状と課題 ●

高齢者の増加に伴う高齢者の危険運転による死亡事故の多発などを背景とし、公共交通機関は、ニーズの高まりをみせています。環境への負荷低減を図るといった観点からも、コミュニティバスをはじめとする、すべての交通が総合的に連携し、住民の移動を効率よく支える役割が求められています。また、同時に円滑で快適な輸送サービスの提供が受けられるよう、その安全性と質の確保も必要です。

当町の公共交通機関は、町南部を東西に走る近鉄湯の山線の鉄道をはじめ、三重交通による路線バス、町によるコミュニティバス、オンデマンド交通ののりあいタクシーで構成されています。交通機能の充実と利便性の向上を図るため菰野駅前広場の整備を行いました。引き続き菰野駅周辺の環境整備を進めていく必要があります。

地域における人間関係の希薄化を背景に、公共交通代替方法として考えられる地域での乗り合わせも困難であるため、高齢者が安心して運転免許証の返納ができるよう、今後は更なる町内交通ネットワークの充実が求められており、令和元年度に国土交通省が支援を行う全国 19 事業の一つに選定されたMa a S（マーズ）¹⁶の導入など、移動するための新たなサービスの提供についても推進する必要があります。

コミュニティバスは、「菰野駅」「けやき」をターミナルに主要施設などを結ぶ身近な交通手段として運行を行っています。運行開始より 20 年が経ちますが、今後は老朽化したコミュニティバス車両の更新を行っていく必要があります。さらに、利用者の利便性の向上を図り、社会情勢の移り変わりによるニーズの変化に対応するため、路線及び運行時刻の見直しを適宜実施し、運行状況等を検証した上で、コミュニティバスを中心とする新たな地域公共交通網を構築することが必要となっています。

● 目指す方向 ●

- ① 公共交通の利便性向上を図ります
- ② 公共交通の環境整備を進めます
- ③ 公共交通の利用促進を図ります

● 関連する個別計画 ●

- ・ 菰野町都市マスタープラン（①②）
- ・ 菰野町国土強靱化地域計画（②）

● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通機関の利便性や改善点などを考えながら積極的に利用する ・ 公共交通機関の利便性や改善点などについて、利用者目線での意見を出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利便性の向上を図るため、コミュニティバスの運行方法やルートに適宜、見直す ・ 事業者に対し、利用者の観点から改善等を積極的に働きかける ・ 公共交通機関の利用促進を啓発する